

名 称	デ ー タ
北九州都市計画境川土地区画整理事業 〔② 北九州市, ③ 100% 完成 (昭和 47 年 9 月 20 日現在)〕	事業実施箇所: 北九州市小倉区・同戸畑区 事業主体: 北九州市 工事期間: 昭和 32 年度～47 年度 事業予算: 16 億 5 000 万円 施行面積: 211 ha 都市計画街路: 日明渡船場線ほか 5 線・延長 7 473 m 区画街路: 幅員 11～4 m・延長 4 万 3 844 m 公園: 14 か所・総面積 13 万 6 380 m ² 公共用地率: 施行前 13%・施行後 26%
千葉市源町土地区画整理事業 〔② 千葉市, ③ 77.6% 完成 (昭和 48 年 2 月 20 日現在)〕	事業実施箇所: 千葉市 事業主体: 源町土地区画整理組合 工事期間: 昭和 44 年度～48 年度 事業 予算: 10 億 4 000 万円 施行面積: 41 ha 都市計画街路: 稲毛町茂呂町線ほか 1 線・延長 640 m 区画道路: 幅員 12～4 m・延長 11 万 578 m 公園: 4 か所・総面積 12 万 600 m ² 公共用地率: 施行 前 11%・施行後 27%
奈良国際文化観光都市建設事業・平城 土地区画整理事業 〔① 平城ニュータウン, ② 奈良市, ③ 25.7% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: 奈良市佐紀町・同歌姫町・同山陵町・同押熊町の各一部 事業主体: 日本住宅公団 工 事期間: 昭和 45 年度～50 年度 事業予算: 116 億 9 000 万円 都市計画決定: 昭和 43 年 12 月 28 日 (45 年 4 月 28 日変更) 都市計画事業の承認: 昭和 45 年 10 月 13 日 面積: 348.7 ha 計画人口: 4 万 3 000 人 (120 人/ha) 都市計画街路: 1.3.7 (幅員 24 m)・2.1.6 (幅員 24 m), その他 2 線を予定している 公共用地率: 施行前 1.45%・施行後 26.29%
渡辺通線街路改良工事 〔② 福岡市, ③ 90% 完成 (昭和 48 年 1 月 20 日現在)〕	事業実施箇所: 福岡市中央区渡辺通り 1～同 5 丁目 事業主体: 福岡市 工事期間: 昭和 44 年 5 月 1 日～48 年 3 月 31 日 事業予算: 10 億 7 000 万円 施工業者名: 松本組・新日本土木・オリエンタル コンクリート
総武本線市川一津田沼間線路増設工事 に伴う道路と鉄道との立体交差工事 〔① 総武線高架, ② 千葉県, ③ 97% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: 国鉄総武線江戸川一津田沼間 事業主体: 千葉県 工事期間: 昭和 43 年 12 月 28 日 ～48 年 3 月 31 日 事業予算: 154 億 2 000 万円 計画決定: 昭和 43 年 12 月 28 日, 44 年 5 月 26 日変更 事業決定: 昭和 43 年 12 月 28 日, 44 年 5 月 26 日変更 協定: 昭和 44 年 2 月 28 日 変更協定: 昭和 47 年 2 月 18 日 高架方式: 線増高架 (現在 2・線増 2) 施工業者名: 前田建設工 業・西松建設・大林組
大野川歩行者専用道 〔② 大阪市西淀川区大和田町一大阪西 淀川区御幣島東 1 丁目, ③ 21.6% 完 成 (昭和 48 年 1 月 30 日現在)〕	事業実施箇所: 大阪市西淀川区大野川埋立跡地 事業主体: 大阪市 工事期間: 昭和 46 年 4 月 1 日～ 50 年 3 月 31 日 事業予算: 12 億円 (うち, 築造/舗装/植栽/照明 <31～47×2 700 m> 4 億 7 000 万 円・立体交差 6 か所/7 億 3 000 万円) 施工業者名: 森鋪道・東光園緑化・橋詰電気
県立観音崎公園 〔② 横須賀市〕	事業実施箇所: 神奈川県横須賀市鴨居 事業主体: 神奈川県 工事期間: 昭和 45 年 4 月～50 年 3 月 事業予算: 6 億 5 000 万円 面積: 77.2 ha おもな施設: 芝生広場・展望広場・トンネル 施工業 者名: 花崎産業・日産建設・日建工業
岩手県営運動公園 〔② 盛岡市〕	事業実施箇所: 盛岡市下野川 事業主体: 岩手県 工事期間: 昭和 39 年 4 月～48 年 3 月 事業予 算: 8 億 5 000 万円 面積: 23.7 ha おもな施設: 陸上競技場・ラグビー/サッカー場・テニスコート ・野球場・日本庭園・交通公園 施工業者名: 銭高組
福井少年運動公園 〔② 福井市〕	事業実施箇所: 福井市福町 事業主体: 福井県 工事期間: 昭和 45 年 4 月～48 年 3 月 事業予算: 2 億円 面積: 3.89 ha おもな施設: 冒険の森・遊園系コーナー・バランスポンド・ロー ラースケート場・擬木の森 施工業者名: 松田組・北陸造型美術・谷崎工業
山口県明治百年記念公園 〔② 山口市〕	事業実施箇所: 山口市吉敷 事業主体: 山口県 工事期間: 昭和 42 年 4 月～48 年 3 月 事業予算: 9 億 6 000 万円 面積: 51 ha おもな施設: ポート池・自由広場・徒渉池・沈床花壇・陸上競技場・ テニス/バレーコート・屋外休憩所・記念塔 施工業者名: 藤本組・多々良造園
都市計画街路事業新福光大橋 (橋梁整 備) 〔① 新福光大橋, ② 富山県福光町, ③ 100% 完成 (昭和 47 年 10 月 11 日現在)〕	事業実施箇所: 富山県新砺波郡福光町福光吉江中地内 事業主体: 福光町 工事期間: 昭和 46 年 10 月 15 日～47 年 10 月 11 日 事業予算: 7 500 万円 施工業者名: 川田工業・丸泉組
柏都市計画柏駅東口市街地再開発事業 〔② 柏市〕	事業実施箇所: 柏市常磐線柏駅前 事業主体: 柏市 工事期間: 昭和 45 年度～48 年度 事業予算: 92 億 6 000 万円 (うち, 建築施設工事費・65 億 6 600 万円) 施行面積: 1.9 ha 都市計画決定: 昭 和 46 年 1 月 権利変換計画決定: 昭和 47 年 3 月 建築施設等工事: 昭和 47 年 4 月～48 年 10 月 施工業者名: 大成建設

水資源・上水道
下水道・工業用
水道・環境衛生

水資源開発は、都市人口の集中、増大および産業の発展等により急激に増大する水需要に対処するため、多目的ダムの建設を主に河川水の広域的利用、水利用の合理化等をはかるものである。また、近年水資源の“量”のほかに“質”が問題となってきたり、今後とも十分な検討と対策が望まれる。

上水道 (簡易水道、専用水道を含む) の普及率は昭和 46 年末で 82.7% に達し、国民の公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与し、都市の産業基盤としても重要な役割を果たしている。給水量は年々増加しており、とくに生活様式の多様化、建築物の高層化によるビル用水、大都市周辺における住宅団地等の造成による都市化の影響が大きい。これらの給水量を確保するため、建設事業は依然として活発であり、昭和 47 年度は 4 146 億円が見込まれている。

概 要 ・ 特 色
<p>本地区は小倉、戸畑両駅から 3~2 km の位置にあり、小倉、戸畑両区にまたがる 211 ha の平坦地で、周辺はすでに整備された住宅市街地や文教地帯である。本地区中央を流れる境川の改修工事と併行して公共施設改善と宅地開発を目的とし、人口約 3 万 5 000 人、小学校 1 校、幼稚園 3 園等を計画した。さらに、公園は地区面積の 6.4% を整備し、また、保留地を活用して公民館 3 館など公益施設をもあわせて整備、良好な住宅市街地の形成をはかった。</p>
<p>本地区は千葉市の中心から約 2 km に位置する畑、山林が大半を占める田園地帯であった。日本住宅公園の東寺山団地の本地区隣への進出に伴い、良好な住宅市街地形成をめざし、計画人口 6 000 人、小学校 1 校、公園 4 か所、上下水道、ガス施設をあわせて整備する。また、保留地の民間デベロッパーへの一括処分、農住地区の設定、事業施行後の土地利用管理会社の設立等、積極的に市街化促進をはかり、すぐれた住環境の整備を計画している。</p>
<p>本ニュータウンは近畿圏における住宅事情の改善と、宅地取得難の緩和に資するため、約 349 ha の区域について土地区画整理事業により計画人口 4 万 3 000 人のニュータウンを建設しようとするものである。本地区は、風光明媚な丘陵地で、その付近には名所旧跡などの文化的遺産が散在している。よって、自然環境の保全を考慮して、古都にふさわしい街づくりをめざしている。なお、隣接して京都側に約 260 ha の開発が計画されており、完成後は両者あわせて 7 万 5 000 人のニュータウンとなる予定である。</p>
<p>都市計画街路渡辺通線は、福岡市の都心部と市南部の副都心および博多駅に通ずる主要幹線道路である。昭和 44 年度から福岡県で改良工事に着手、47 年 4 月より福岡市が指定都市に昇格し事業主体が福岡市に移った。工事長 660 m で、幅員 30 m を 50 m に拡張し、中央にグリーンベルトを設置した。本路線内には、片側に西鉄の路面電車が走っているため軌道をはきんで 2 車線とし、グリーンベルトと路面電車との間の 1 車線は電車が車と対面交通とし交通処理をした。</p>
<p>総武線沿線の人口増に伴い本線の輸送量は逐年増加の一途をたどっており、ラッシュ時の混雑は輸送上の隘路であった。このため、国鉄は第三次長期計画の一環として現在線に平行して複線を増設することとしたが、これにあわせてすべての道路を立体交差化し、道路交通の円滑化と踏切事故の解消をはかるため鉄道を高架化することとし、市川駅一津田沼駅間約 12 km のうち高架区間約 8.3 km (うち半地下 1.2 km) を昭和 42~47 年度の計画で実施し、昭和 47 年 7 月複数線開通を実現した。現在維工事を実施しており、昭和 48 年度精算の予定である。</p>
<p>本路線は、河川としての機能が低下し、汚濁のはげしくなった大野川筋の河川を埋立て、公害対策と、あわせて市民の通勤、通学および散策のための道路として建設するものである。事業は延長約 3 km、中央に幅員 3 m の自転車専用道路を 2 本、その外側にそれぞれ幅員 3 m の歩行者専用道路をとり、これらの各道路間および残りの部分をすべて緑化し、交差している鉄道や主要道路とは立体交差させることになっている。幅員 31~47 m、事業費約 12 億円で、46 年度から 4 年間で完成させる予定である。</p>
<p>広葉樹林におおわれた丘陵地と波浪にあらわれた岩礁砂浜部からなり、変化に富んだ自然環境をもっており、磯遊び、海水浴、丘陵地でのハイキング、海への展望、旧砲台跡の探散等、幅広い利用が期待されている公園である。</p>
<p>県民の生活環境を保全する公園緑地の確保と、体育施設の整備により、青少年の基礎体力づくり、ならびにスポーツ振興の役割をもつものとし、とくに昭和 45 年国民体育大会の開催においては主会場として大会の中枢的施設として計画された公園である。</p>
<p>子供のための運動公園として、従来の運動というイメージとは違った観点から、子供達の各種さまざまな遊びを通じて運動の基礎的能力の向上をはかるように配慮された公園で、新しい遊具の考案、組合せ等に独自の試みがなされている。</p>
<p>広く県民の利用に供するため「日本の城」のイメージを取り入れた修景施設、および運動、集合広場、池等の施設と、郷土樹種を中心とした森林公園を造成し、維新における先賢の偉業をたたえ、青少年が将来に向かって大きく成長することに役立たせ、人類の永遠の平和を祈念するための記念公園である。</p>
<p>本橋は、富山県福光町遊部地内において小矢部川に架けられたプレビーム橋である。設計上、桁下空間を十分確保し、かつ前後取付道路の勾配緩和をはかるため、桁高の制限を受けた。このような条件のもとで種々の形式について比較検討した結果、美観上、維持管理、施工性、経済性の点からみて本形式とした。プレビームは、鋼桁の曲げ剛性を利用してコンクリートにプレストレスを導入したものであり、桁の剛性が大きいので、桁高制限を受ける場合に経済的となり、製作・架設が簡単であり、美観上もすぐれた特長をもっている。</p>
<p>柏市における中心商業地として発展してきた当該地区には十分な公共施設がなく、老朽した木造低層家屋が密集し、不健全な土地利用となっていた。このため、本事業では、柏駅東口交通広場とその上部の歩行者専用こう上式広場をはじめ、都市計画街路 2 路線を整備するとともに、中心商業地にふさわしいショッピングビル 2 棟を建設し、柏市および周辺地域の中心商業地として整備する。昭和 48 年 10 月には事業が完了し、地区の面目を一新して活動を開始することとなる。</p>

下水道は、都市の根幹的施設として、公共用水域の水質保全、生活環境整備、防災に資する役割はきわめて大きいにもかかわらず、わが国では著しく立ち遅れており、市街地面積の 23.5%、総人口に対する排水人口は 36% (昭和 46 年度末) の普及にとどまっている。水質環境基準を達成するためには下水道の整備が不可欠であり、流域別下水道整備総合計画の早急な策定と、これに基づく流域下水道・公共下水道の整備が急がれている。昭和 47 年度の事業費は、第三次下水道整備五か年計画の 2 年目として 5 283 億円が予定されている。

工業用水は日本経済の生長と重化学工業を支える施設で、全国的に整備が進められている。

環境衛生 (廃棄物処理) については、産業活動の拡大、国民生活の向上等に伴って、排出される各種廃棄物が膨大な量にのぼり、その質も著しく変化している。とくに、産業廃棄物の多くは、有害物質や処理の困難な物質を含み環境汚染の要因となっている。昭和 45 年度末において糞尿の衛生処理率は計画処理人口に対して 78%、ごみの衛生処理率は 65% にとどまっているが、これらの 100% 達成とともに、産業廃棄物の処理に対する対策が望まれている。

名 称	デ ー タ
北伊勢工業用水道山村ダム 〔③三重県四日市市, ③90%完成 (昭和48年2月28日現在)〕	事業実施箇所: 三重県四日市市山村町 事業主体: 三重県企業庁 工事期間: 昭和46年8月~48年5月 事業予算: 8億2000万円 形式: ゾーンタイプアースダム 高さ・長さ: 高さ37m×長さ748.6m (本堤257.1m・プランケット491.5m) 堤体積: 48万3000m ³ 総貯水量: 234万m ³ 有効貯水量: 218万3000m ³ 施工業者名: 飛島建設
福山臨海工業用水道中津原浄水場 〔②広島県福山市, ③100%完成〕	事業実施箇所: 広島県福山市中津原 事業主体: 福山市 工事期間: 昭和44年10月~47年4月 事業予算: 2億4000万円 形式: 横流式薬品沈殿池(傾斜板式) 処理水量: 12万m ³ /日 形状寸法: RC造(幅40m・長さ70m・深さ4m) 排泥装置: 水中クラリファイア(幅1200mm×長さ20m, 2連・幅3900mm×長さ20m, 6連) 汚泥処理: フィルタープレス49m ² , 3台 施工業者名: 三井建設・水道機工
愛知用水工業用水道東郷浄水場 〔②愛知県愛知郡, ③95%完成(昭和48年2月28日現在)〕	事業実施箇所: 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪 事業主体: 愛知県水道局 工事期間: 昭和46年8月~48年3月 事業予算: 5億8000万円 形式: 横流式薬品沈殿池(傾斜板式) 処理水量: 21万5000m ³ /日 形状寸法: RC造(長さ22m・幅33m・深さ3.4m・4池) 排泥装置: 水中クラリファイヤー5600mm, 8基 汚泥処理: フィルタープレス 施工業者名: 三井建設
富山県営和田川工業用水道 〔②富山県高岡市, ③100%完成(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 富山県高岡市島新 事業主体: 富山県企業局 工事期間: 昭和46年9月~47年3月 事業予算: 1億1000万円 形式: 横流式薬品沈殿池(傾斜板式) 処理水量: 8万m ³ /日(最終30万m ³ /日) 形状寸法: RC造(長さ40.6m・幅19.4m・深さ4m) 施工業者名: 大成建設・在原インフィルコ
東京都多摩川清掃工場建設(建物・焼却炉・その他設備)工事 〔②東京都, ③80%完成(昭和48年2月20日現在)〕	事業実施箇所: 東京都大田区下丸子2丁目33番地内 事業主体: 東京都 工事期間: 昭和46年4月1日~48年9月30日 事業予算: 29億7000万円 焼却能力: 600t/24h(300t/24h×2基) 炉形式: タクマ連続燃焼式焼却炉 給じん方式: ビットアンドクレーン方式 除じん方式: マルチサイクロンおよび電気集じん器 余熱利用方式: 余熱ボイラー, 蒸気タービンおよび発電機 建物概要: 鉄骨鉄筋コンクリート 施工業者名: タクマ/清水建設・東京都多摩川工場建設工事JV
岩屋ダム建設事業 〔②岐阜県益田郡, ④50%完成(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 岐阜県益田郡金山町 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和44年8月~50年3月 事業予算: 160億円 ダム形式: ロックフィルダム 堤高: 128m 堤頂長: 373m 堤体積: 500万m ³ 総貯水容量: 1億7350万m ³ 有効貯水容量: 1億5000万m ³ 施工業者名: 熊谷組
霞ヶ浦開発建設事業 〔②茨城県行方郡潮来町, ③14%完成(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 茨城県霞ヶ浦北浦常陸川 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和46年3月~51年3月 事業予算: 315億円 湖面積: 206km ² 総貯水容量: 11億8800万m ³ 有効貯水容量: 5億8000万m ³ 湖岸堤新設延長: 約64km 流入河川対策: 52河川 施工業者名: 古久根建設・大部工業・松村建設
草木ダム建設事業 〔②群馬県多野郡, ④48%完成(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 群馬県多野郡東村 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和41年9月~51年3月 事業予算: 315億円 ダム形式: 重力式コンクリートダム 堤高: 140m 堤頂長: 397m 堤体積: 130万m ³ 総貯水容量: 6050万m ³ 有効貯水容量: 5050万m ³ 施工業者名: 鹿島建設/西松建設JV
房総導水路建設事業 〔②千葉県, ③20%完成(昭和47年12月30日現在)〕	事業実施箇所: (上流端)千葉県佐原市(下流端)同長生郡長柄町 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和45年7月~51年3月 事業予算: 192億円 導水幹線水路約3万6000m 貯水池ダム: 長柄/有効貯水量960万m ³ ・東金/同220万m ³ 揚水機場: 3機場 両導水路: 共用水路改築施工業者名: 青木建設・佐藤工業・西松建設
旧吉野川河口堰建設事業 〔②徳島県徳島市, ③65%完成(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 徳島県板野郡松茂町 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和45年7月~51年3月 事業予算: 32億円 旧吉野川河口堰: 形式可動堰・堰長192m・門扉ローラーゲート6門 今切川河口堰: 形式可動堰・堰長220m・門扉ローラーゲート7門 施工業者名: 大成建設(今切川河口堰)
金町浄水場 〔②東京都, ③82%完成予定(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 東京都葛飾区金町 事業主体: 東京都 工事期間: 昭和44年4月~51年3月 事業予算: 107億2000万円 取水施設: 取水ポンプ・高速沈殿池6池・薬品処理設備/急速ろ過池32池・配水池3池・汚泥処理設備ほか 施工業者名: 熊谷組・日立製作所・在原インフィルコ
飯泉取水施設 〔②神奈川県小田原市, ④100%完成予定(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 神奈川県小田原市飯泉 事業主体: 神奈川県内広域水道企業団 工事期間: 昭和44年4月~48年3月 事業予算: 46億1000万円 取水堰: 高さ5.4m×長さ342.5m 取水口: 幅43.2m×長さ17.5m 沈砂池: 幅19.5m×長さ111.5m×4槽 施工業者名: 西松建設
尾張水道用水供給事業犬山浄水場系施設 〔②愛知県犬山市, ③66%完成予定(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 愛知県犬山市 事業主体: 愛知県 工事期間: 昭和44年4月~51年3月 事業予算: 126億8000万円 取水口: 4門, 沈砂池2池 導水管: φ2800mm・L=1240m 沈殿池: 16池, ろ過池24池 送水管: φ1800~φ300mm・L=59303m 施工業者名: 銭高組・熊谷組
猪名川流域下水道余野川幹線 〔②池田市, ③15%完成(昭和48年1月31日現在)〕	事業実施箇所: 大阪府池田市槻木町 事業主体: 大阪府 工事期間: 昭和47年6月1日~49年9月30日 事業予算: 15億円 工法: 岩盤ソールド工法 仕上り内径: 1500mm 延長: 3.8km ソールド機: 手掘ソールド機 施工業者名: 鹿島建設・竹中土木・熊谷組
堀留下水処理場 〔②愛知県名古屋市, ③70%完成(昭和48年3月31日現在)〕	事業実施箇所: 名古屋市中区千代田1丁目(既設)・大須4丁目(拡張) 事業主体: 名古屋市 工事期間: 昭和45年12月~48年9月 事業予算: 約52億円 計画処理面積: 1428ha 計画汚水量: 旧施設63000m ³ /日・完成時20万m ³ /日 処理方式: 活性汚泥法 施工業者名: 間組・清水建設・前田建設工業

概 要 ・ 特 色

北伊勢工業用水道は、わが国最大の石油化学コンビナートが形成されている三重県四日市地区へ日量 75 万 m³ の供給をはかるべく、昭和 45 年度より着工されており、水源は木曾川水系で水資源開発公団が施工する岩屋ダムに求め、木曾川用水路を経て取水するものである。本ダムは、この調整用のダムとして築造されたもので、地区内河川の水も取水して濁水調整を行ない安定した工業用水の供給をはかろうとするものである。

備後工特地域の中核地である福山市臨海部に立地した鉄鋼および関連企業に対し、すでに供給している第一期工業用水道の日量 12 万 m³ に引続き、第二期事業としてさらに 12 万 m³ の施設を建設し、このほど給水を開始した。水源は付近を流れる芦田川に求め、農林省が施工した既設「三川ダム」をかさ上げして、その水量の確保をはかったものである。
本浄水場は、工業用水道の中核となるもので、全施設を管理する計装設備を有し、ここで全体を集中管理することとしている。

愛知用水工業用水道は、名古屋南部、知多工業地帯へ日量 30 万 m³ の工業用水を供給する目的で昭和 46 年度から着工しており、水源は、矢作川矢作ダムから 10 万 m³、愛知用水萩山池先木曾川から 20 万 m³ を取水するものである。このうち愛知用水系 20 万 m³ の浄化処理を受け持つのが、本東郷浄水場である。ここで沈殿処理された工業用水は、需要配水管を経て名古屋南部工業地帯の各工場へ配水される。

本工業用水道は、富山、新湊地区新規工業地帯（富山新湊後背地）の新規立地工場への給水と、高岡地区既存工場の地下水転換分としての給水を合わせて日量 30 万 m³ の能力をもつものである。水源は庄川水系和田川に求め、発電と共同導水路で取水し、本浄水場で処理したのち、各工場へ配水するものである。本浄水場は、富山県営上水道と共同の浄水場で、最終的には上水水合せて 36 万 m³ の施設能力となる。

本工場は、タクマ式連続ごみ焼却施設で、最近のごみ質の変化に適応する設計がされている。また、公害に関しても煤煙・騒音・汚水の防止設備が設置されている。
そのほかに、余熱を使用してボイラーを設置し、その蒸気によって発電を行ない、場内の使用電力の大部分を受持つようになっている。
運転管理に必要な計装設備を行ない、その上に、ごみ搬入状況・電力使用状況を把握するデータ処理装置を設け、近代的なごみ焼却施設である。

このダムは飛騨川の支流馬瀬川に建設される多目的ダムで、洪水調節を行ない、35 万 2000 kW の発電に利用されるほか、新規に開発される毎秒 45.69 m³ の水は岐阜県の農業用水として 6.13 m³/sec、岐阜・三重・愛知 3 県の上水道用水として 19.13 m³/sec、同じく 3 県の工業用水として 20.43 m³/sec、供給されることになっている。昭和 39 年建設省が着手、44 年に公団が引き継いだもので、これの施工は中部電力に委託されている。48 年 2 月に本体工事に着工、49 年度完了をめどに建設が進められている。

鏡ヶ浦は、面積 206 km² の湖で、首都圏の自然の水がめとして、また周辺地域開発にとっても、この湖の開発が期待されている。この事業は、既設の常陸川水門とあわせて湖水位を調節し、湖周辺の洪水を防ぐとともに、毎秒 40 m³ の水を茨城・千葉両県の農業用水に、また茨城・千葉両県・東京都の都市用水として供給する。このため、湖岸堤の新設や補強、常陸川水門の改修、流入河川の護岸の新設、改良その他水位変動に伴う諸対策を行なうもので、昭和 51 年 3 月完成をめどに事業が進められている。

このダムは、利根川総合開発の一環として渡良瀬川上流に建設されるダムで、洪水調節と濁水期の用水補給を行ない、また約 6 万 kW の発電にも利用されるもので、新しく生み出される毎秒 12.6 m³ の水は渡良瀬川沿岸の農業用水として 4.8 m³/sec、栃木県・埼玉県・東京都の都市用水として、7.8 m³/sec 利用されることになる。現在、ダム本体・付替道路等の建設中で、昭和 51 年 3 月完成の予定である。

本事業は市原・木更津地域へ上水道用水 0.4 m³/sec・工業用水 7.0 m³/sec・計 7.4 m³/sec を供給するとともに、九十九里沿岸地域に都市用水 1.0 m³/sec を供給することを目的として利根川本川から最大 13.2 m³/sec を取水し、両総用水施設の一部ならびに新設水路を経て長柄ダムおよび東金ダムに導入調整することにより常時上記の水量を確保するものである。ただし、かんがい期には両総用水の所要水量に加えて、新規利水 3.0 m³/sec を同時に通水するため両総用水施設の一部を拡張するものである。

旧吉野川は吉野川下流から分派し、さらに流路の途中で今切川に二分されている。この流域の大半は感潮部にあり、旧吉野川・今切川河口に設けられた潮止め樋門により塩害を防いでいるが、樋門の老朽化によって漏水が多くなり、十分な機能を果していない。一方、本 域の都市化に伴って、工業用水・上水道用水の新規需要が強く要望されている。このような問題に対応するために、現潮止め樋門付近に河川を横断し、旧吉野川河口堰 192 m および今切川河口堰 220 m を新設するもので、現在、今切川河口堰を施工中であり、旧吉野川河口堰も 48 年度当初に着工する予定である。

東京都では、昭和 50 年度を目標に日量 120 万 m³ の施設能力の増加をはかるため昭和 44 年度から 7 年計画で第三次利根川系水道拡張事業を行なっている。この一環として当金町浄水場（今増加浄水能力 46 万 m³/日）の拡張工事が行なわれており、47 年度中に高速沈殿池・急速ろ過池・配水池（2 池）・取水施設がほぼ完成の予定である。

神奈川県内広域水道企業団の創設事業として、酒匂ダムに水源を求め酒匂川下流に堰を新設して取水し、伊勢原・相模原・西長沢に設ける浄水場まで 3.3 m×3.3 m 馬蹄型断面の導水トンネル 32 km、φ3100~2900 mm 導水管 13 km 等により導水し、浄水後これを横浜市・川崎市・横須賀市および神奈川県水区域へ供給するものである。当取水堰は全面越流型フローティングタイプであり、昭和 48 年 7 月一部通水を行なうため 47 年度末完成の予定である。

愛知県管尾張水道用水供給事業の創設事業であり、計画目標年次 55 年日最大給水量 52 万 1000 m³/日 である。給水対象は一宮市・春日井市をはじめとする 8 市 6 町 2 村 4 企業団である。この地域は水源を大部分地下水に依存しており、地下水の過剰揚水により水量水質とも悪化の一途をたどっているため、本事業により今後の生活用水の確保をはかるものである。その一環として、昭和 48 年度に一部通水をめざし犬山系施設が鋭意施工中である。

昭和 47 年 8 月に着工した本幹線のうち下流端の推定地層は、軟・硬岩層（一部風化）である。この掘削は、水平穿孔後機械的振動によってき裂つを発生させ、その後ビックハンマーを使用して、日進 3.5 リング（2.5 m）の実績を得ている。一方、切羽からの湧水も多いので（600~700 l/min）路上より薬液注入を行なっている。

本処理場は、名古屋市最初の下水処理場として昭和 5 年に建設され、活性汚泥法により都心部の汚水を処理してきた。戦後汚水量の増加により拡張を迫られていたが、拡張用地として隣接の都市公園の地下に建設することが決まり、昭和 45 年 12 月拡張工事に着手した。拡張施設として最初沈殿池・暴気槽・最終沈殿池等の高級処理施設の大部分は公園の地下に、本館・プロロー室等は旧施設の敷地の一部を利用して建設している。処理能力は昭和 48 年 3 月末高級処理 13 万 5000 m³/日、昭和 48 年 9 月末完成時には 20 万 m³/日 となる予定。

名 称	デ ー タ
庄 内 処 理 場 〔② 大阪府豊中市庄内, ③ 50% 完成 (昭和 48 年 2 月 1 日現在)〕	事業実施箇所: 大阪府豊中市大島町 3 丁目 519 事業主体: 豊中市 工事期間: 昭和 44 年 4 月 1 日～ 48 年 3 月 31 日 (第 1 期工事) 事業予算: 70 億円・第 1 期工事分 (全体計画の 1/2) (全体計画) 計画処理面積: 1140 ha 計画処理人口: 27 万人 計画汚水量: 12 万 m ³ /日 処理方式: 活性汚泥 法 (ステップエアレーション) 施工業者名: 鹿島建設・銭高組
荒川左岸流域下水道 〔① 荒川処理センター, ② 埼玉県戸 田市, ③ 25% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: 埼玉県戸田市大字下笹目 事業主体: 埼玉県 工事期間: 昭和 41 年 4 月 1 日～61 年 3 月 31 日 事業予算: 691 億円 計画処理面積: 1 万 9 750 ha 計画処理人口: 200 万 8 000 人 計 画汚水量: 84 万 5 000 m ³ /日 処理方式: 標準活性汚泥法 施工業者名: 西松建設・奥村組・熊谷組
鹿島臨海都市計画下水道事業 (特定公 共下水道) 〔① 深芝処理物, ② 茨城県鹿島郡, ③ 50% 完成 (昭和 47 年 12 月 31 日 現在)〕	事業実施箇所: 茨城県神栖町 事業主体: 茨城県 工事期間: 昭和 44 年 7 月 1 日～55 年 3 月 31 日 事業予算: 102 億 400 万円 (うち, 幹線管きょ費 25 億 4 900 万円・ポンプ場費 3 億 9 500 万円・処理場 費 67 億 8 00 万円・用地費その他 4 億 7 200 万円) 施工業者名: フジタ工業・大成建設・鹿島建設
厚別下水終末処理場 〔② 札幌市, ③ 63% 完成 (昭和 48 年 3 月 31 日現在)〕	事業実施箇所: 札幌市白石区厚別町山本 711 の 9 事業主体: 札幌市 工事期間: 昭和 46 年 5 月 1 日 ～49 年 3 月 31 日 (第一期計画) 事業予算: 20 億 8 000 万円 (第一期計画分) 計画処理面積: 762 ha (全体計画 4 646 ha) 計画処理人口: 10 万人 (全体計画 50 万人) 処理方法: 標準活性汚泥法 施工業者名: 大林組・岩田建設
芦屋市下水終末処理場 〔② 兵庫県芦屋市, ③ 30% 完成 (昭 和 48 年 2 月 1 日現在)〕	事業実施箇所: 芦屋市 事業主体: 芦屋市 工事期間: 昭和 46 年 4 月 1 日～49 年 9 月 1 日 事業 予算: 32 億 2 000 万円 計画処理面積: 846 ha 計画処理人口: 11 万 5 000 人 計画汚水量: 5 万 1 000 m ³ /日 処理方式: 標準活性汚泥法 施工業者名: 大林組

第 II 編の編集方法—————会誌編集委員会

第 II 編の編集は, 主として会誌編集委員会の構成員をもって編担当者を定め, 編担当者が主力となって, 下記の方々のご協力を求めてとりまとめる方式をとりました。ご執筆いただいたにもかかわらず掲載されない工事・原稿もございましたし, また, これは掲載したいが頁数の関係で割愛した, という工事も多々ございます。これは, 各編ごとに最大収載件数を定めたことに原因するわけですが, この間の事情ご監察のうえ, ご了承いただきたく付記いたします。

第 II 編の編集・執筆者一覧—————五十音順・敬称略 *印は編担当者

1. 国土計画・地域計画

栢原英郎*

2. 道 路

石岡英男・石黒光照・泉 満明・稲見俊明*・今井宏典・
嘉指 晃・金津 久・菊池新一・窪田哲夫・河野光龍・小
村 敏・高橋一男・中川 茂・西田雅則・橋本弘之・早坂
征三・藤井崇弘・増田勝美・松下 勇・御子柴光春・本山
蒨・山崎寿重・横山治郎・吉田光雄

3. 鉄 道

浅利昌市・荒井満雄・安藤久司・飯田芳信・飯田俊博・市
原久義・入江平門・鬼沢 淳・加藤田敬・上根善数・黒沢
藤吉郎・近藤 茂・鈴木和也・高橋省次・西村英明・布目
鐘之・野村秀典・長谷川宏夫・原口 勉・平井義啓・牧野
慶祐・峯本 守・村岡健一郎・安原 明*・山下研也・渡
辺十三男

4. 都市計画

黒川 洗*・白井芳樹・鈴木謙之・西村俊一・二宮敏明・
前田 博・松富泰生・丸山嘉典・望月俊美・安井常二

5. 水資源・上水道・下水道・工業用水道・環境衛生

河合恂二・鈴木 繁・福井経一*・山田 裕・山本 功・
横田 勇・吉本国春

6. 治水・治山・海岸

浅川信雄・安孫子正幸・伊藤三男・遠藤長三郎・鎌田幸
明・倉持好一・剣持正平・小見山楨二・斎藤省吾・坂本忠
彦・佐藤 馨・沢田 通・鈴木英夫・瀬尾克美・高田康
弘・竹入勝美・竹林徳三・田崎良雄・苗村滋克*・仲野昭
義・藤沢侃彦・的場紀彦・森本末正・矢野重信・山内道
也・吉田三郎

7. 港湾・漁港・航路標識

朝日山和且・石山 修・江口 肇・大林 隆・喜田健一
郎・木村茂雄・桐山利紀・小林章英・阪本 浩・桜井興平
・桜井正憲*・鈴木 嗣・前田正孝・松山方彦・山形 正秀
・山下幸市・横山顕二・吉川 弘

8. 空 港

古川一義・山田隆二*

9. 発電施設

安藤健一・池部雅公・奥村徳太郎・神田 淳・佐藤文三・
谷内勝美*・中田浩至・長谷川勉・畑中俊吉・林 茂・宮坂
節雄・山下弘・渡部 威

10. 通信土木施設

小野文郎・深瀬鋭次郎*

11. 農業土木

相原正光・岩本莊太・貝通丸明・川嶋久義・木村喜作・清
野忠義・古賀英祐*・佐藤昭郎・堀井健次・増井 久

12. 観光・レクリエーション

原 重一*

13. 工場施設

(次ページへ)

概 要 ・ 特 色

本終末処理場は大阪の衛星都市豊中市の市街地に位置するため、処理場用地の有効利用と、とくに外観に注意がはらわれ、今後の処理場建設の見本と考えられる。処理場建設には覆蓋を施し、上部は公園に計画されている。敷地面積の関係上構造物の立体化がはかられ、最初沈殿池が2階式である。なお、合流式下水道のため最初沈殿池流入前にエアレーション沈砂池が設置されている。

荒川は埼玉県および東京都の重要な水道・工業用水道の水源地であるが、この流域は東京近郊の衛星都市として都市化が急速にすすみ、近年その汚濁は著しく水道水源として、許容限界に達している。したがって、荒川の水質汚濁防止対策として昭和41年度から事業に着手し、昭和47年10月から一部（処理能力人口12万5000人）処理開始している。管理システムは、中央管理室にてコンピューターを取り入れた自動制御方式により、管理の正確さと省力化をはかっている。

本事業は鹿島海域の水質保全をはかる目的で鹿島臨海工業地帯に立地する工場の排水等を幹線管きょにより深芝処理場に導き、生物学的処理および物理化学的処理を行なうもので、昭和44年度特別都市下水道事業として実施された。なお、特定公共下水道として県が責任をもつ下水道事業のうち初めて処理場をもつこと、コンビナートの排水を受けるため、水量・水質が予測できなかったこと、石油化学・石油精製废水处理を主とする処理場の3つの特色をもっている。昭和44年度着工、45年9月に一部（3万3000m³/日）処理開始をしている。

本処理場は近年開発の著しい札幌市の東部地域を受持つ処理場であるが、本地区は石狩川の水質規制を受けるため標準活性汚泥法による高級処理方式を採用している。第一期計画は主に流通業務団地や住宅団地を対象としたもので、49年4月から本運転をする予定である。本処理場は、分流式地域の処理場としては本道最大の処理場であり、積雪寒冷地の処理場であるため維持管理面を考慮して全池に上屋をかけているのが特徴である。

当処理場は若干の緩衝地帯はあるにしても、市街地の直中にあるため周囲の環境と調和し公害を発生させないように留意してある。水処理施設には上屋を設け、上部を公園として開放し、隣接する都市計画公園と一体で利用できるようにした。とくに燃焼炉についてはコンクリート障壁を設けるなど、美観と防音の役目をさせ全体をコンパクトにまとめた。なお、廃煙は水洗アルカリ洗浄により規制された値以下で排出するようにしている。

東川 昇・大塚本夫・小倉浩一郎・小原忠幸・川上奉昭・
伊達義治・中島 清・福島国夫・仏石 勇・古川昭二郎・
細村国夫・富田鎮夫・安 昌克*・渡 義治

14. 災害復旧

大河原 満*・滝沢俊二・中田弘・西田一孝・松尾芳博・

村井昭郎

15. 海外工事

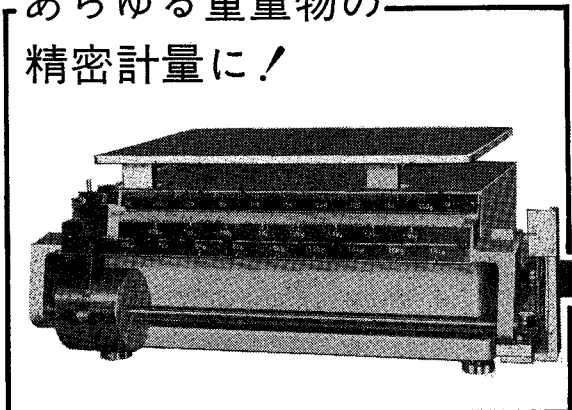
新居英一・伊藤浩平・岩佐彰三・大倉清一・北野 章*・
小山田浩嗣・菊池 剛・後藤直司・白川安文・栢檀 馨・
田中悦次・滝田義祐・西山 保・平野 宏

MURAYAMA



精密無錘万能秤

あらゆる重量物の
精密計量に！



* 研究室用に精度 1/20,000
* 生産現場用に精度 1/10,000

特長 増錘不要・風袋除去装置付・皿面積が350×250mmのワイド形・桿休み装置付・秤量1kgから200kgまでの豊富な機種

主なる用途 原料配合用 粉末、液体その他の精密びょう量 高度の品質管理 その他

	秤量	最小目盛	秤量	最小目盛
SM 1	1 kg	0.1g	M 4	10kg 1g
U 021	2 kg	0.1g	U 201	20kg 1g
M 1	5 kg	0.5g	U 301	30kg 2g
U 101	10kg	0.5g	LM 3	50kg 5g



有限会社 村山製作所

●カタログ呈

〒273 千葉県船橋市栄町3番地 電話(0474)31-3671代表